

# 福井県感染症発生動向調査速報

<<平成20年>>

<週報> 第22週 (平成20年 5月26日 ~ 6月1日)

発行日: 平成20年6月4日

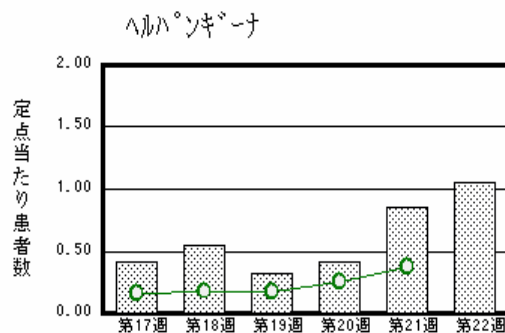
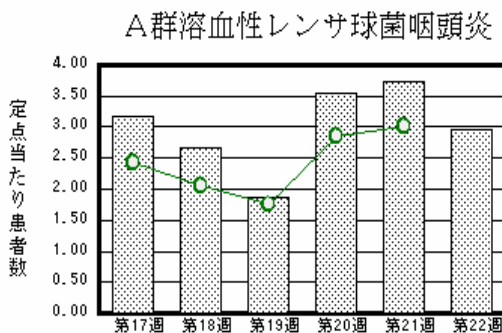
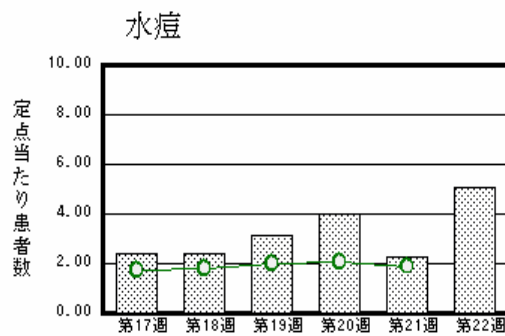
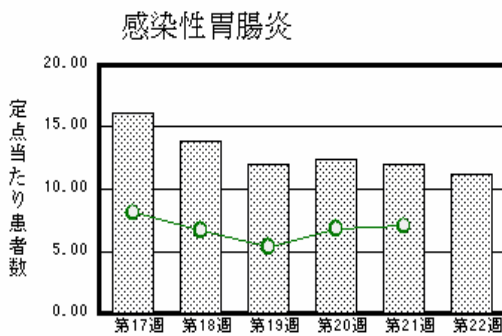
発行: 福井県健康福祉部健康増進課

福井県衛生環境研究センター

kansen@erc.pref.fukui.jp

## 注目疾患の動向

1. 【今週の上位5疾患】 感染性胃腸炎246名(11.18名) 水痘111名(5.05名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎65名(2.95名) ヘルパンギーナ23名(1.05名) 咽頭結膜熱18名(0.82名) 突発性発しん18名(0.82名) ( )内は定点当たり人数
2. 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎(246名) 水痘(111名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(65名) ヘルパンギーナ(23名) 咽頭結膜熱(18名) 突発性発しん(18名)
3. 【感染性胃腸炎】報告数は246名です。定点当たり報告数は減少しました(12.05名 11.18名)。地域別にみると、福井地区18.57名、坂井地区10.33名、丹南地区10.00名、二州地区8.67名、奥越地区3.50名、若狭地区1.00名の順となっています。
4. 【水痘】報告数は111名です。定点当たり報告数は増加しました(2.27名 5.05名)。地域別にみると、丹南地区9.40名、二州地区6.00名、福井地区5.00名、奥越地区3.50名、坂井地区1.33名の順となっています。
5. 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は65名です。定点当たり報告数は減少しました(3.73名 2.95名)。地域別にみると、奥越地区7.50名、二州地区4.00名、坂井地区3.33名、丹南地区2.40名、福井地区2.29名の順となっています。
6. 【ヘルパンギーナ】報告数は23名です。定点当たり報告数は増加しました(0.86名 1.05名)。地域別にみると、奥越地区3.00名、丹南地区2.00名、坂井地区1.67名、福井地区0.29名の順となっています。



棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

## 感染症週報全国版の要点

2008年第20週号(5月12日~5月18日)要点

発生動向総覧	<第20週> A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い/その他最新動向
注目すべき感染症	<4月> 性感染症・薬剤耐性菌感染症について
病原体情報	<百日咳> 第20週の報告数は325例であり、1999年第14週以降の最高値をさらに大きく上回った
速報	ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌2008年 / 麻疹ウイルス2008年 / 無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス2007~2008年
海外感染症情報	修学旅行先において腸管出血性大腸菌(EHEC) O26に感染したと思われる事例 - 佐賀県
感染症の話	中国におけるエンテロウイルス感染症流行状況
	<今週はお休みです>

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

全数届出の感染症(福井県)

- 1類感染症: 報告はありませんでした。
- 2類感染症: 結核1名の報告がありました。
- 3類感染症: 報告はありませんでした。
- 4類感染症: 報告はありませんでした。
- 5類感染症全数把握対象: 麻しん2名の報告がありました。

福井県感染症発生動向調査

[定点報告: 五類感染症(週報分)]      平成20年 第22週      平成20年5月26日(月) ~ 平成20年6月1日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(21週)
		インフルエンザ (32)	インフルエンザ (鳥インフルエンザを除く)							
小児科 (22)	RSウイルス感染症		1 0.33	2 0.67				3 0.14	2 0.09	138 0.05
	咽頭結膜熱	1 0.14	10 3.33	4 1.33	1 0.50		2 0.40	18 0.82	13 0.59	1754 0.58
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16 2.29	10 3.33	12 4.00		15 7.50	12 2.40	65 2.95	82 3.73	9111 3.02
	感染性胃腸炎	130 18.57	31 10.33	26 8.67	2 1.00	7 3.50	50 10.00	246 11.18	265 12.05	21180 7.02
	水痘	35 5.00	4 1.33	18 6.00		7 3.50	47 9.40	111 5.05	50 2.27	5718 1.89
	手足口病	2 0.29	2 0.67					4 0.18	5 0.23	2109 0.70
	伝染性紅斑						1 0.20	1 0.05	1 0.05	597 0.20
	突発性発しん	5 0.71	3 1.00	3 1.00	1 0.50	1 0.50	5 1.00	18 0.82	16 0.73	2174 0.72
	百日咳			1 0.33			2 0.40	3 0.14	8 0.36	323 0.11
	ヘルパンギーナ	2 0.29	5 1.67			6 3.00	10 2.00	23 1.05	19 0.86	1116 0.37
眼科 (3)	流行性耳下腺炎			7 2.33			3 0.60	10 0.45	10 0.45	1297 0.43
	急性出血性結膜炎		*	*	*	*				24 0.04
基幹 (6)	流行性角結膜炎									537 0.79
	細菌性髄膜炎								1 0.17	7 0.02
	無菌性髄膜炎								2 0.33	17 0.04
	マイコプラズマ肺炎	2 1.00						2 0.33	2 0.33	181 0.39
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									13 0.03

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。

\*欄には定点はありません

福井県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

平成20年第22週 平成20年5月26日(月)～平成20年6月1日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(鳥インフルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	
～5ヶ月		～5ヶ月	2	1		4	3			1	1			～5ヶ月							
～11ヶ月		～11ヶ月	1	1	1	21	9	1		9		1		～11ヶ月							
1歳		1歳		7	3	30	33	2		6		8		1歳						1	
2歳		2歳		4	7	32	27			1		7		2歳							
3歳		3歳		2	9	27	18	1	1	1		4		3歳							
4歳		4歳			8	35	14					2	2	4歳						1	
5歳		5歳		2	6	24	3					1	2	5歳							
6歳		6歳		1	8	20	2						1	6歳							
7歳		7歳			5	11	1						3	7歳							
8歳		8歳			3	3					1		2	8歳							
9歳		9歳			2	16								9歳							
10～14歳		10～14歳			5	11	1							10～14歳							
15～19歳		15～19歳			3	3								15～19歳							
20～29歳		20歳以上			5	9					1			20～29歳							
30～39歳														30～39歳							
40～49歳														40～49歳							
50～59歳														50～59歳							
60～69歳														60～69歳							
70～79歳														70歳以上							
80歳以上																					
合計		合計	3	18	65	246	111	4	1	18	3	23	10	合計						2	
前期計		前期計	2	13	82	265	50	5	1	16	8	19	10	前期計			1	2		2	
当期間/前期	***	当期間/前期	1.5	1.38	0.79	0.93	2.22	0.8	1	1.13	0.38	1.21	1	当期間/前期	***	***				1	***
増減数		増減数	1	5	-17	-19	61	-1		2	-5	4		増減数			-1	-2			

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

\*\*\*は前期計が"0"のとき